

File 04 [六甲山上のびのびロッジ各所改修工事]

使われていなかったお部屋をリフレッシュして 子ども達がのびのび学べる空間へ

自然あふれる六甲山頂にあるこの施設は、平成10年8月から豊かな自然に囲まれた学習環境『六甲山のびのびロッジ』としてスタートされました。1959年に住宅として建てられたこの建物は1階に岩風呂があり、長年倉庫として使われていましたが、今回の工事で教室にリニューアルされました。



建物概要

竣工 : 昭和34年6月 築55年
規模 : 2階建て(延320.95㎡)
工期 : H26.3.21~H26.4.7

岩風呂から教室へ

物置として使用していた岩風呂を子どもたちがのびのびと使える教室にリフレッシュしました。施工中、岩の搬出経路に苦労しただけでなく、既設の配管や配線を整備しながらの工事は苦労の連続でした。



岩風呂(解体中)



教室(完成)

すごく変わったね!

もとの形が分からなくなるぐらいの変化にオーナーさんやナビゲーターさん(子どもの学習を側面支援する方)にも感動を与えることができました。



リノベーション部 伊柳 浩

アプローチを広くしました

雨が降ると地面の土が流され、でこぼこだった進入路を碎石で地盤改良舗装しました。道が整備されたことにより、ぬかるみや水たまりが解消されました。また、曲がり角を広げることで今までより広く、子供たちが毎日乗っている送迎用マイクロバスも楽に曲がれる道になりました。



Before



After

車の運転もラクです。

企画営業部 灰本 貴英



アプローチ(施工前)



アプローチ舗装(完成)

子ども達の発想豊かになる教室に...

教室の壁に子供たちのイラストが描かれました。教室の仕上げを下地の材料のままにすることにより、壁をキャンバスとして自由に使えるようにしました。大好きなキャラクターやお友だちの絵... それぞれの子どもが持つ突出した好奇心や探求心を存分に満たし、個々の持つ強みをより伸ばして、そこから得られる自信とエネルギーで、様々なことにチャレンジする力を付けます。



壁のボードに描かれたイラスト

自由な教室になったね!

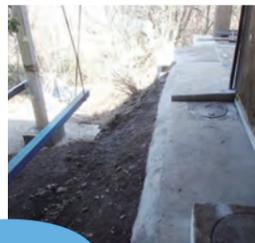
リノベーション部 石野 由佳



授業の風景

建物周辺に土間をつくりました

建物の周りに土間を設けました。子供たちが通るスペースを確保し、遊具まで安全に行けるようになりました。さらに建物の周辺の土が雨で流れる心配もなくなりました。



安心して遊べるね!

工務部 榎木 勝也

六甲山頂の景色

工事中、山頂は雪に吹雪かれ、現場の周辺は一気に雪景色になりました。所長と職人さんは仕事をしながら、下山できるか不安でいっぱいでした。このような環境も山ならではの！山の天気は左右されながらも無事に工事を完了できました。



平成26年4月7日撮影

山の天気は変化しやすい!

リノベーション部 村上 敦則

六甲山のびのびロッジができたきっかけ



代表 炭谷俊樹 様

「学研の科学」を愛読していた小学校時代、アインシュタインに憧れ、「ほくも物理学者になる!」と決意し、大学で物理学(素粒子論)を専攻しました。1986年より経営コンサルティング会社マッキンゼーに勤務し、1992年より2年間、北政事務所勤務になりデンマークに在住中、幼児だった長女が受けた、一人一人に光を当てて個性や自立心を伸ばす教育に感銘したことが

きっかけとなり、帰国後1996年 ラーンネット・グローバルスクールを設立しました。一人一人が自分のもっているものを発揮し、「偏差値教育」に変わる新しい教育の概念として「探究型学習」を提唱し、様々な年齢での人材育成に携わっています。今回、新しく出来た教室では中学年(小学校2・3年生)が使用しています。日当たりが良く、風通しが良いのが気に入ります。

所長のコメント



炭谷様と竹川所長

『六甲山のびのびロッジ改修工事』は、子供たちが春休みに入った、まだ肌寒い3月21日にスタートしました。街中より気温が5~6度低い山上は、時に雪がちらついたり濃霧に覆われたりして、普段体験できない自然の中での工事となりました。そんな環境の中、子供たちが快適に勉強できる様、断熱に配慮した改修に努めました。

編集は「顧客満足推進委員会」です!

- 委員長 竹川 義和
- 副委員長 伊柳 浩
- 委員 灰本 貴英
- 村上 敦則
- 榎木 勝也
- 石野 由佳

